

表題 東北地方における新たな教員養成・研修の体制構築及び教員就職者増加への取組

今後の少子化に伴う学校・学級数の減により教員採用者数の減少、特に中学校での授業時間数が少ない技術や家庭科の採用者数が非常に少なくなることが予想されます。東北地方唯一の国立の教員養成単科大学として、社会経済の変化に対応した新たな教員養成・研修等の体制づくりを提唱して各地域の大学や教育委員会等の連携・協力を得ての取組や、各地域への教員輩出の増加に向けた教員養成の取組を進めています。

東北創成国立大学アライアンス「教員養成連絡協議会」を中心とした検討と新たな教員養成・研修の体制構築

○「教員養成連絡協議会」（令和4年3月）設置（東北創成国立大学アライアンスの部会として）
東北地方7国立大学（弘前、岩手、東北、宮城教育、秋田、山形、福島）及び新潟大学の学長、理事により
①今後の東北地方における教員養成の規模や体制、②関係大学間における連携または集約の取組の内容などを協議する場として設置。
令和4年度に中学校技術、家庭等での新たな養成・研修体制の構築に関する第一次取りまとめを行う。

○「中学校技術、家庭等の教員の円滑な養成・確保及び研修に係る連絡会」（令和6年2月）設置
東北地方における今後の各地域での関係教員の円滑な確保及び当該学校種・教科の現職教員に対する研修の機会の十分な確保等に向けて、賛同する国立大学（弘前、岩手、宮城教育、秋田、山形、福島）及び教育委員会（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市）が連絡調整、協議等を行う場として設置。※大学名、教育委員会名は令和6年12月時点

期待できる成果
○東北地方における新たな教員養成・研修体制の構築
○中学校技術、家庭等の教員の円滑な確保及び現職教員に対する研修の機会の十分な確保

東北地方各地域への教員の輩出の増に向けた取組例

○入試での「地域定着枠」「宮城県内定着枠」の設定
令和4年度から、総合型選抜試験で宮城県以外の各地域で中学校技術、家庭等の教員として活躍することを目指す高校生等のための地域定着枠を設けるとともに、学校推薦型選抜で宮城県の特定地域の学校で小学校教員として活躍することを目指す高校生等のための宮城県内定着枠を設定。

地域フィールドワーク研究（東北編/宮城編）における学校体験活動の様子



○東北地方6県について学ぶ「地域関連科目」の開設
令和6年度から、地域課題解決及び地域に貢献できる教員を輩出することを目的に新設。「東北の教育と人づくり」「地域フィールドワーク研究（東北編/宮城編）」（1年次）、「東北・宮城の教育事情」（2年次）、「地域に根ざした教育実践（東北編/宮城編）」（3年次）を設定。各教育委員会の協力を得ながら、学生自ら東北地方各地に赴いて体験活動を積み重ね、教員就職への意欲を高め、学修課題を明確化する機会としている。

期待できる成果
○東北地方各地域への教員就職者の増加
○中学校技術、家庭等の各教育委員会が採用・確保に苦慮している教員の東北地方広域への輩出
○宮城県内特定地域への優れた教員の輩出

